

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018年 12月 4日作成

研究課題名	わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究
研究の対象	2016年5月17日～2028年12月31日の間に当院で腎生検を受けた全ての患者、腎生検非施行の腎臓病患者を対象とします。
研究目的 ・方法	目的：わが国における腎臓病発症の実態が明らかにし、腎臓病診療のあり方の根拠となるデータや、腎臓病診療のガイドライン策定の際の参考となる基礎データを得ます。 方法：通常診療で得られるデータの登録を行います。 本研究に関する必要な経費は、日本腎臓学会からの委員会予算でまかなわれており、研究者等は研究遂行にあたって特別な利益相反*状態にはありません。（※：利益相反とは、外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のことを指します。）
研究期間	西暦 2016年5月17日 ～ 西暦 2028年12月31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	病理診断施設名、病理組織診断、年齢、性別、尿検査所見、血液検査所見、腎機能検査所見、組織画像
外部への 試料・情報の 提供	データセンターへのデータ提供は、WEBによる登録となり、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。本研究で用いる情報としては、氏名、生年月日、カルテID等あなたを特定できるような個人情報削除し、年齢、性別および診察の結果得られる診療情報を使用します。 研究に使用する際には、研究用の番号（識別番号）を付けて取り扱います。あなたと識別番号を結びつけるものとして対応表と呼ばれるものを作成します。その対応表及びその他の情報等を電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで、横浜市立大学附属病院 腎臓・高血圧内科のインターネットに接続できないパソコンで保存します。このパソコンが保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。本研究によって得られた情報も対応表と同様に管理します。よって、データセンターに情報を提出する際は個人が特定されないようになります。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

外部からの 試料・情報の 取得と保管	特になし
研究組織	「わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに総合データベース構築に関する研究」 参加施設(連絡責任者)リスト をご参照ください。 https://www.jsn.or.jp/member/registry/facilities.php
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 腎臓・高血圧内科（医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学） 研究責任者 田村 功一 電話番号：045-787-2800(代表) FAX：045-701-3738</p>	